

第17回中央日本交流・連携サミット開催報告

中部圏広域での産学官連携活動について、観光、防災、デジタル人材等の各テーマにおける今後の活動内容、連携を活発化させる活動のあり方について、産学官のトップクラスの方々に参加頂き、議論した。

日 時：2021年1月12日（火）13:30～16:05

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル 16階 タワーズボールルーム

出席者：

（県・市）

長野県 太田副知事（Web出席）、岐阜県 平木副知事（Web出席）、
静岡県 出野副知事（Web出席）、愛知県 加藤副知事、三重県 廣田副知事（Web出席）、
名古屋市 堀場副市長

（国行政）

中部経済産業局 畠山局長、中部地方整備局 堀田局長、中部運輸局 嘉村局長

（大学）

信州大学 濱田学長（Web出席）、岐阜大学 杉山副学長（Web出席）、
静岡大学 石井学長（Web出席）、名古屋大学 松尾総長、三重大学 駒田学長（Web出席）

（中経連）

水野会長、中西副会長（Web出席）、中村副会長、神野副会長、
小川専務理事、栗原常務理事、平松常務理事事務局長

計 21 名

○議題1 広域での産学官連携活動状況と今後の活動・論点

広域観光・広域防災・デジタル人材等、活動が既に進みつつあるテーマについて、以下の取り組みを進めることを確認した。

【広域観光】

インバウンドを含めた観光需要の回復と地域間競争の激化に向けた準備となる以下の施策の推進。

- ・行政のニーズ、大学・民間の知見を得て、中央日本総合観光機構が提案する観光に関するデータを有効に活用するための地域全体のプラットフォームの構築と地域の司令塔としての同機構の機能強化。
- ・広域での活動の多くがプロモーションである現状を踏まえ、5県1市の産学官が参画する枠組みを活かし、(将来的に機構が推進役を担うことを見据え) プロモーション以外の価値ある広域での取り組みの具体化・実体化。

【広域防災】

- ・技術者・研究者が興味深いシーズや最先端の技術をアピールしやすく且つ、その技術・研究に対して、興味を持ちそうな行政・企業が繋がるマッチングの場の検討。
- ・過去の災害復旧時の経験をケーススタディとしたノウハウの共有・蓄積に繋がる活動の検討。
- ・情報共有への対応として、S I P 4 D（内閣府が主導する「戦略的イノベーション創造プログラム」で研究開発している基盤的防災情報流通ネットワーク）の情報により産業界で更に情報を活用できる枠組みの構築。

【デジタル人材の育成】

DXおよび就労する幅広い人材のデジタルスキルの底上げに資する中部圏共通のインフラとなる「リカレント教育の場・仕組み」の構築に向けた以下の活動の推進。

- ・幅広い人材が新たなITテクノロジーの価値を知り、使いこなすために必要な素養を短時間で身につけることのできる「リカレント教育の場・仕組み」づくりを目指し、産学官の各機関の若手担当者を中心としたワーキンググループによる具体案の策定。
- ・現場でのITテクノロジーの導入を経験した人材等が、より高いレベルの知識・能力を身につける際に役立つ「プラットフォーム」の構築。

また、新たな取り組みとして、コロナ禍で長期間に亘り大きなダメージを受けることが想定される航空宇宙産業への支援、回復に向けた取り組みを産学官が連携して推進すること、地域産業の活性化、サーキュラー・エコノミー、留学生の就職支援、外国人の日本語教育について、今後の取り組みを検討していくことを確認した。

○議題2 広域での産学官連携の活発化に向けた活動のあり方

本活動をさらに活発化させ、次回のサミットで、各テーマの活動状況を踏まえた議論を行うことを確認した。

また、産学官各機関の実務担当レベルによる連携の場を新たに設け、更に活動を活発化させていくことを確認した。

以 上